



Place out *of* Time

流れる瞬間、うつろう場所

私の作品を通して、私たちの社会構造の中でコミュニケーションのプロセスを促進させようとしています。私たちの文化は、ある特定の意図を持って作られたイメージによって支配されており、それを信じさせようとする人々や、物語として売り込む人々すら存在します。

私たちは年老いることを忘れてしまったのでしょうか？ 私たちの社会は世代間の契約を再交渉しますか？ 私たちは環境の変化や時間の変化への準備ができていますか？ 未来の高齢化社会はどうなってしまうのでしょうか？ テクノロジーによって生まれた問題を、テクノロジーで解決することが果たしてできるのでしょうか？ 私たちは最期の時をロボットとともに過ごすことになるのでしょうか？ 私たちは他の場所から来る人間を恐れ、その代わりにロボットとともに過ごすことを選ぶのでしょうか？

With this work I intend to facilitate a communicative process within the social fabric of our society. Our culture is dominated by images that are created with a certain intention, some try to convince us of some believe, some try to sell us a story. I rather ask questions.

Have we forgotten that we will age? Has our society renegotiated a contract between the generations? Are we prepared for changing times and changing environments? What will be the future for aging societies? Can we solve problems created through technology by using technology? Will we spend our last days together with robots? Are we so afraid of humans from other places that we prefer the company of robots over them?





